

6-4 基本方針4 地域における高齢者の支援体制づくり
(4) 高齢者を介護している方に対する支援

掲載ページ	99	事務事業名	介護用品支給サービス事業(紙おむつ等の支給)		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	市民税非課税世帯で、要介護4または5に相当する高齢者を主に介護している家族に紙おむつ等を支給する。					
事業の目的	要介護高齢者を介護する家族等の支援。					
評価の指標	利用件数:各年度600件					
27年度	目標値	600件	評点	S	評価	第5期計画から毎年度、利用件数が増加しており、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	653件			今後の取組	介護用品の支給により介護者(家族等)の負担軽減を図る。サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。

掲載ページ	99	事務事業名	家族介護支援一時入所事業(特別養護老人ホーム)		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	介護者の疾病、事故等の社会的理由により、在宅介護を受けることが一時的に困難になった要介護高齢者に対して、特別養護老人ホームへ一時入所を行い、介護保険の給付限度額を超えた利用日数分の費用を負担する。					
事業の目的	要介護高齢者等を介護する家族等の負担軽減。					
27年度	評価	市内すべての特別養護老人ホームと委託契約を締結し、事業対象者の受け入れ体制を整				
	今後の取組	新たに開設する特別養護老人ホームを含め、市内すべての特別養護老人ホームと委託契約を締結し、事業対象者の受け入れ体制を整える。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				

掲載ページ	99	事務事業名	家族介護教室		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	高齢者を介護している家族に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識や技術を習得するための教室を実施する。また、介護について悩んだり、困っている家族等を対象に心理職による相談等を行う。					
事業の目的	高齢者を介護している家族等の負担軽減を図る。					
27年度	評価	11の地域包括支援センター及び市で2回実施し、延べ16回開催できた。そのため、テーマも多岐にわたって実施できたことから、参加者は関心のあるテーマへの参加ができた。				
	今後の取組	今後も継続する。				
	進捗状況	①予定より早まっている				

掲載ページ	99	事務事業名	家族介護慰労事業(地域支援事業)	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	市民税非課税世帯で介護サービスを受けていない要介護4又は5の被保険者の家族に年額10万円の助成を実施する。				
事業の目的	介護をしている家族への慰労。				
27年度	評価	27年度は1件の申請があり、支出した。比較的介護の必要の度合いの高いにもかかわらず、介護保険制度を利用しないで、家族による介護を1年間続けることに対する慰労のため、実績があることが直ちに評価につながるということではないと考えている。			
	今後の取組	引き続き事業は継続し、該当する者からの申請があった場合には対応を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			